

12/18(金)8:00-10:00 至高知大学 朝倉キャンパス
～コロナに屈せず、オンラインによる国際協力を～
世界の“島嶼国”防災関係者向け研修 修了式/意見交換会の開催
～大洋州・カリブ海・インド洋アフリカ地域
8カ国12名の行政官が遠隔研修を修了～

JICAは11/16(月)～12/18(金)にかけて、高知大学、高知県等と連携し、開発途上国の防災担当行政官を対象に、課題別研修「島嶼国総合防災」研修を**フルリモート**にて実施しています。



参考写真：昨年度の修了式の様子(2019年12月)

本研修は、台風・ハリケーンや地震・津波といった自然災害の多い島嶼国を対象に、風水害対策や地震・津波対策を中心に、災害種、地理条件が近い高知県の知見である防災対策を学ぶものです。島嶼国特有の課題や現地の実態を踏まえて、インフラ等の構造物対策だけでなく、行政における政策・制度から避難訓練や自主防災組織といった住民参加による非構造物対策など、総合的な防災対策を学ぶコースです。

本研修を通じて、参加者が自国で想定される自然災害への対策について理解を深めるとともに、防災・減災対策の改善に向けた具体的な行動計画を作成、その後実践することで、各国の防災体制が強化され、自然災害による被害を軽減することが期待されています。

例年であれば、来日研修となりますが、コロナ禍のもと、様々な映像を駆使した、100%オンラインでの約1か月の研修を実施しました。この度、最終日に本研修の修了式と意見交換の場を、リアルタイム接続にて行います。

「人命にかかわる災害はコロナだけではない、救える命を少しでも多く」との思いから、自国のコロナ対応にも従事しながら研修を修了する、志の高い研修員へのインタビューも可能です。また、作成した映像教材もご紹介可能です。是非、ご取材ください。

研修名：	課題別研修「島嶼国総合防災」
対象国 (8か国)：	【大洋州】 パラオ、サモア、バヌアツ 【カリブ】 ジャマイカ、セントビンセント・グレナディーン、トリニダード・トバゴ 【インド洋アフリカ】 コモロ、セーシェル
対象者(12名)：	各国の中央政府・地方自治体で防災に携わる行政官等
技術研修期間：	2020年11月16日～12月18日(2021年来日予定)

通訳(英語・日本語)が同席しますので
各国参加者へのインタビューも可能です。

ぜひ ご取材ください！



日程表

2020年12月18日（金） 8:00-10:00

会場：高知大学 朝倉キャンパス 国際連携推進センター（研修員はZoom参加）

【大洋州/カリブセッション】(8:00-10:00)
● 8:00-8:15 出欠確認、運営側自己紹介
● 8:15-9:15 研修評価会（参加者による研修内容へのフィードバック）
● 9:15-9:40 修了式（参加証授与式）
高知大学挨拶 5分
JICA四国挨拶 5分
JICA参加証授与（リモート証書授与）10分
Zoom画面にて記念撮影 5分
● 9:40-10:00 運営者（高知大、JICA）から研修員へのメッセージ

- ・全体は英語で運営されます。インタビューは通訳を介して実施可能です。
- ・上記以外の時間での研修員への質問、研修実施者（高知大学、JICA）も可能です。
- ・Google Classroomという学校現場等で利用されているプラットフォームを活用した遠隔研修の様子もお見せできます。

【本件に関する問い合わせ先】

JICA四国 業務課 研修担当（船越）

TEL 087-821-8826 e-mail: Funakoshi.Yohei@jica.go.jp

※場所や時間に限りがありますので、取材をご希望の場合は事前にご連絡ください。